

## マイカー通勤、ST制度など諸要求にも答えよ

10月25日9:00~10:05、23年末第2回目の団交報告その②です。

### ■ハブスポがあるからマイカー通勤にしている人もいる

**組合** マイカー通勤者のおかげで会社が得しているということがあるのだから高速代くらいは出してもいいのではと思う。

**整本** 出してしまうとマイカー通勤者が増えてしまう。

**組合** そこは駐車場のスペースの関係で制限されている。だから、現在のマイカー通勤者に「ちゃんと交通費を出すから高速に乗って安全に通勤してください」でいいと思う。

**整本** そこに不公平が生じるのではないかな？

**組合** そこは仕方ないと思う。自分もあきらめた。その後、JALECでマイカー通勤を斡旋した時期があった。それは駐車場が空いたタクシーに比べると安いから。でもあまり増えなかった。せめて今マイカー通勤の人だけでもJALECから出してあげればいいのか。

**会社** マイカー通勤で足が出ない形に向かっていくと、そうしたい人が増えてくるので、そうなったときにみんなをそれにすることはできない。駐車場の上限の話もあるが、何でこの人が認められて、この人は駄目なのか、となる。

**組合** とりあえずハブスポを止めてみたら公共交通機関に戻る人もいるかもしれない。あれを理由にマイカーに切り替えた人もいる。コストの問題をするなら全員が公共交通機関になったときの交通費と今の交通費を比べてどのくらい増えるのか計算してほしい。そもそもハブスポでどのくらい経費が浮いているのかも調べてほしい。

**会社** その経済性の問題もゼロではないとは思いますが、コストだけではなく、やっぱり東京を拠点としている会社の通勤のあり方として、まずは公共交通がベースというふうに考えている。

**組合** 公共交通で通える時間に仕事をするように整備本部に言って、電車が動いている時間に働ければマイカー通勤にはならない。話はそこからなると思う。

### ■ST制度変更から半年 オープン券がない不便さはある

**組合** ST制度が変更され、半年ぐらい経ったけれど、どうしても最後に空席が出る。自分が乗れなかった時にSOARAでその便を検索すると、空席があったという話をよく聞く。羽田でJALオンラインを見て、20分前にチケットが取れても乗れない。だから空席待ちカウンターの前まで行って番号をもらって、空席埋めるといったやり方がスムーズな気がする。そういうことは本当にできないのか？

**会社** 事前に説明した通り、一般のお客様でも前日までに予約できない運賃がある。スカイメイトとかは空席待ちができない。ST制度の前提は、一番はお客様があつての制度ということでやっているのだから、お客様への対応を超えるというのは難しい。そこは変わらない。

**組合** 実際にお客様とスタートラインが一緒ならいいけれど、ST枠は元々少ない。ネットで普通に見られるものと違う。

**会社** お客様と一緒にではないというのが基本的な考え方なので、お客様と違っていいと思っている。

**組合** スカイメイトとかシニア割の人たちは4時間前で予約できる。ということはそこでの空席はその方たちが取っているわけだから、その後、予約は取っているけど来なかった人の枠の話をしている。

**会社** そこは1時間前から解放するようにしている。空席が出れば乗れるので最後の20分前に締め切ったときに、予約持っていた方が来なかった、その部分だけのことだと思う。

**組合** そこを社員が欲している。会社としてはNO-SHOWだからお金が入っているからもういいんだ、と言うかもしれないけど、そこに1割払っている人が滑り込めるというのが福利厚生だろう。

**会社** どこまでやるかというところで、全体で見たときに、4月12日の前後で、始めは初期対応があったけれど、枠を広げた後は、大きく見たときに著しく制度が低下しているとは思っていない。それは利用者数も見ていて、2019年とかよりも多い実績でご搭乗いただいている。もちろんそこだけ見るとそういうお声もあるのかなと思うけれど、空席があれば乗れるし、3時間前からでも確保できる。

**組合** 2019年と比べるとそうなんだろう、我々にもリベンジ需要みたいなものがあって、基本的に旅行好きな人がこの会社に入っていたりするから増えて当然かと。

**会社** その比較をどうこう言うつもりないけれど、目安として2019年から比べても半分ぐらいの人しか乗れていないような話ならば、もう少し何か考える必要があるかと思うけど。

### ■3時間前の予約は適正か クラスJは使えないのか

**組合** 3時間前で予約できるようになったけれどこれも余裕がない。だからスカイメイトとかの予約も含めて、もうちょっと早めて8時間とか前日とかにしてほしい。単身赴任の人が帰るときに、遅番の次が休みの場合、朝7時台の便に乗るとしたら、遅く帰ってきて、朝4時に起きてスマホと格闘しないといけない。あと、月～金で働いている人、金曜日に大阪から帰ってくると言ったときに、午後はずっと携帯見ながら空席を取り合う、これでいいのかという話。今の大阪の話だと朝一で、夕方の便を取ればいいのかと思う。「その間に有償のお客様が来るじゃないか」と言われるとそうだけど、予約できると言うなら、当日ベースも考えてもいいのでは？

**会社** 現状は同じ答えになってしまう。そういうご意見があるのは、元々認識はしている。でも現行の3時間前を前倒しにするというような考えにはならない。

**組合** 最初からクラス J には乗れないようになってきているけど、A350 は、クラス J が 90 席以上ある仕様もあって、エコノミーが満席になって、クラス J が 60 席くらい空いている時もある。そのときに単身赴任で帰ってこようと思ったら乗れなかったという。1000 円より高くなったけれど、それを払ってでも、ST や別居特任 ST で乗りたいという人には、空いているなら乗せてあげたらいいと思う、そこは社員には解放しないのか？

**会社** これも ST 制度の成り立ちから、「節度ある～」ということがあるので、社員が、クラス J を使うことがどう見られるかということだった。でもエコノミーの空席が 0 でクラス J が 60 席あるということが起こっているなら、それがどのくらいの頻度なのかとかも見ていく必要があるのだろう。

**組合** クラス J が 30~50 席とかだったら埋まったかもしれないけど、90 席までは埋まらないと思う。お金がないから普通に Y に乗って移動して旅先で美味しいもの食べようとなると思う。クラス J が空いているならせめて別居特任や緊急搭乗とか、そういう人は別にファーストに乗るというわけでもないの、お客様から贅沢していると見られるとかそういうものでもないと思う。

**会社** そもそも考え方と、あとはオペレーション上、もし本当にお金を払って乗ることを良しとしたときにどう払うのかとか、課題としておく。元々「クラス J には乗れないの？」みたいな素朴なご意見はいただいていたし。

### ■ST 制度について今改善でき得ることは結構あるはず

**組合** だから 1 時間前の全席解放の時に、そこでクラス J も空いているのなら、クラス J を普通に遊びで行く人も乗せてあげたらいいと思う。そもそもこの 1 時間前の全席開放って本当に全席開放している？

**会社** 全席開放している。

**組合** そこが信用ならないという声ある。千歳便はそうならない便があったと言われる。

**会社** たまに何か連絡がバーツッと入るときもあって、システム不具合みたいなものが発生するときもあるけれど、基本的に 1 時間前には、どの便であっても解放している。もちろん何らかのイレギュラーで制限しているみたいな時はある。

**組合** トラブルはそうだろうけど、満席の便でキャンセルが出て、1 席、2 席と出てくることはある。でも、1 時間前にゼロだったのに、20 分前に 15 席空いたことがあったので、20 分前に設定してるのでは？という話があった。それはトラブル？

**会社** それだけ予約した方が来なかったかということ。予約変更が以前よりやりやすい運賃が多くなったと言えば多くて、もちろん予約変更できないのも、引き続きあるけれど。

**組合** 何か変な噂が広がって、「会社は嘘ついている」とまで言われている。それと別居特認 ST00 と ST00 予約、この選択性も評判が悪い。予約可と言っても社用枠があって 2 ヶ月前に取れるかと言っても選べる席が少ない、ずっと取れないままで、当日 3 時間前予約になったら普通の ST と同じ。それでも税金が取られる。6 片道全部に対して税金取られると 1 ヶ月で 2 万何千円になる。負担としては大きい、寮での単身赴任補助は 5 万円、それで「この 2 万円の税金は何だ」という話になる。前みたいに「6 片道のうち 4 片道が予約できる」でいいのでは？システムでどうしてもできないと言うけれど、お金をかけても無理？柔軟に使い分けられないのか？

**会社** 今ある中で、3 と 3 とか、2 と 4 とかそういうのはできない。「予約ができないから、結局 3 時間前の予約になる」というお話があったけれど、本当にそうだろうか、という感じがす

る。28 日前にはかなり席が空いて、伊丹線とかでも確認している。だからそういうことに対してやっぱり価値の高い券だから課税される。これは会社の考えというよりも、国の考え方。

**組合** 要は乗りたい日の後ろの方を予約しておいて、前の便が空いたらそちらに変えればいい話だと思う。2 ヶ月前に最終便しか表示がなく、とりあえず押さえておいて 28 日前に乗りたい便が出たら、いらぬ方をキャンセルしてもいい？

**会社** 正しく即答できないけれど、28 日前で本当に取れない状況あるのか？というところ。

**組合** あと、子供が大学生という年代が多い。年齢制限の 24 歳になったら、子供たちが LCC に移っていくという悲しい状況。この年齢制限について改めて理由を説明してほしい。

**会社** これは破たんした後 ST を作ったときに決めたこと。通常であれば、成人されている年齢で、「節度ある利用」ということを考えたときにどこで線を引くかの問題で一線を引いた。あとはワンワールドのルールに沿っているところ。今それを変えるという考えには至っていない。

**組合** 一親等、二親等で線を引いているわけだから、子供だったら一親等、そこを「社会人になったら自分で航空券買えるよね」ではなく、一親等であれば、ずっと使えてもいいと思う。今の ST だったら ST00 が少ないから多少なりともお金を払うでも、その子供たちは、現状だと JAL に乗らないで LCC の他社便に乗ってしまう。そうすると、その子供たちの家族も LCC ファンとして増えていく。それなら JAL で囲っておいた方がいいのでは、ということ。

**組合** それと「退職者に ST を」という要求、コロナ前から先送りされているけれど、退職しても JAL に乗りたいという方がいるというところに対して、最近の検討状況はどうなっている？

**会社** 当時から優待制度みたいなものをどうするかという話もあって、引き続き今は他社の国際線だけ乗れるという制度なので、それをどうできるかをずっと検討している。まだどういう形にするかということまでは明確には決まっていない。

**組合** OB の人達の期待は大きい。決定しているところがあつたらこの年末の回答に入れてくれれば喜ぶと思う。

**本部長** 私の気持ちはどちらかというところ。ST の話は世の中の的にも、注目度が高く、「航空会社の人は飛行機にタダで乗れる」みたいにずっと言われてきた。そういう意味ではお子さんの話は、成人して、家庭を持って、さらにというのは、そこはどこかで線を引くべき。一方で、退職者は、本当に貢献してくださった人たちで、過去にはそういう制度があった。そこは何か出来ることがあればということが心情的にはある。

**組合** でも子供も 23 歳ではなく、せめて 30 歳ぐらいにならないか？ある程度稼げるようになって、JAL に乗れるぐらいの収入が得られるのがそのくらいかと思う。若い時はお金がない、そのくらいまで面倒見てあげて、「30 代になったら自分で買ってね」ということで。23 歳はちょっと過酷だと思う。

**委員長** 回答前最後の団交だったけれど、まだ伝えきれてないところもある。特に現場の問題とか。だけど一時金とか ST の問題とかは伝えられたと思っている。この中から何とか拾って、1 個でも 2 個でも諸要求部分にも回答してほしい。それと一時金、繰返しになるけども、ペア 7000 円があっても、単身赴任の人達は、ST の税金が増えたことで食いつぶされている、そんな状態で何とか職場、会社を支えているので、ぜひ会社として愛情を持った回答を期待している。ぜひ一時金 3.0 ヶ月お願いします。